

### Ⅲ 資格に関すること

#### 1. 教育職員免許状の取得について

本学部学生で、教育職員免許法及び同法施行規則によって定められたところの科目及び単位を修得した者は、次の教育職員免許状を取得することができます。

##### 1 免許状の種類及び教科

学 科	免許状の種類	免許教科
環 境 数 理 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学 数学・情報
環境デザイン工学科	高等学校教諭一種免許状	理科・工業
環 境 管 理 工 学 科 環 境 物 質 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	理科

#### 2 免許状を取得するための単位修得方法

##### (1) 基礎資格及び最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること

	最低修得単位数		
	中一種免 (数学)	高一種免 (数学・情報・理科)	高一種免 (工業)
教科に関する科目	20	20	29 (68) * <sup>2</sup>
教科又は教職に関する科目	8 * <sup>1</sup>	16 * <sup>1</sup>	16 (0)
教職に関する科目	31	23 * <sup>3</sup>	23 * <sup>3</sup> (0)
小 計	59	59	68
修得を要する科目 [文部科学省令で定める科目]	日本国憲法	2	
	体 育	2 * <sup>4</sup>	
	外国語コミュニケーション	2	
	情報機器の操作	2	
小 計	8		8
計	67		76

\*1 「教科又は教職に関する科目」は、「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の履修により修得すること。

\*2 工業の免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」及び「教職に関する科目」の単位は、「教科に関する科目」の単位数をもって替えることができる。

\*3 「教職に関する科目」は、本学ではカリキュラム上、実際は**25単位**必要となる。よって、それを超えて修得した単位を「教科又は教職に関する科目」に含めることができる。

\*4 本学部では3単位の修得を要する。下記(2)参照。

##### (2) 修得を要する科目 [文部科学省令で定める科目] に対応する開設授業科目

修得を要する科目	対 応 す る 開 設 授 業 科 目
日 本 国 憲 法	日本国憲法
体 育	健康・スポーツ科学 (2単位) スポーツ実習A~F (1単位) } ※本学部では、計3単位の修得を要する。
外 国 語 コミュニケーション	環 境 数 理 学 科 … 英語 (ネイティブ) 環 境 デ ザ イ ン 工 学 科 } 環 境 管 理 工 学 科 } 英語 (ネイティブ) または 英語 (オー 環 境 物 質 工 学 科 } コン) のいずれかを1科目選択
情 報 機 器 の 操 作	環 境 数 理 学 科 : 計算機操作入門 環 境 デ ザ イ ン 工 学 科 : 情報処理入門 環 境 管 理 工 学 科 : 情報処理入門 環 境 物 質 工 学 科 : プログラミング入門

(3) 教科に関する科目に対応する開設授業科目及び履修方法

「教科に関する科目」の最低修得単位数を超過して取得した単位は、「教科又は教職に関する科目」に算入できます。

環境数理学科 [免許教科：中一種（数学）]

教科に関する科目	対応する開設授業科目	履修上の注意	最低修得単位数
代 数 学	○代数学Ⅰ，線形代数Ⅰ，線形代数Ⅱ，線形代数Ⅱ演習，線形代数Ⅲ，離散数学入門，代数学Ⅱ	2 単 位 以上修得	20
幾 何 学	○幾何学基礎，幾何学要論	2 単 位 以上修得	
解 析 学	○応用解析学A，微分積分Ⅰ，微分積分Ⅰ演習，微分積分Ⅱ，微分積分Ⅱ演習，ベクトル解析，応用解析学B，フーリエ解析と偏微分方程式，力学系とモデリング，実験数理，環境数理生物学，偏微分方程式とその応用，環境アナリシス	2 単 位 以上修得	
「確率論，統計学」	○確率論，○統計学Ⅰ，統計学Ⅱ，数理統計学Ⅰ，数理統計学Ⅱ，環境統計科学Ⅰ，計量アナリシスⅠ	4 単 位 以上修得	
コ ン ピ ュ ー タ	○プログラミング言語，プログラミング言語演習	2 単 位 以上修得	

○印：免許状取得における必修科目

環境数理学科 [免許教科：高一種（数学）]

教科に関する科目	対応する開設授業科目	履修上の注意	最低修得単位数
代 数 学	○代数学Ⅰ，代数学Ⅱ，線形代数Ⅰ，線形代数Ⅱ，線形代数Ⅱ演習，線形代数Ⅲ，離散数学入門	2 単 位 以上修得	20
幾 何 学	○幾何学基礎，幾何学要論	2 単 位 以上修得	
解 析 学	○応用解析学A，微分積分Ⅰ，微分積分Ⅰ演習，微分積分Ⅱ，微分積分Ⅱ演習，ベクトル解析，応用解析学B，フーリエ解析と偏微分方程式，力学系とモデリング，実験数理，環境数理生物学，偏微分方程式とその応用，環境アナリシス	2 単 位 以上修得	
「確率論，統計学」	◎確率論，◎統計学Ⅰ，統計学Ⅱ，数理統計学Ⅰ，数理統計学Ⅱ，環境統計科学Ⅰ，環境統計科学Ⅱ，計量アナリシスⅠ	2 単 位 以上修得	
コ ン ピ ュ ー タ	○プログラミング言語，プログラミング言語演習	2 単 位 以上修得	

○印：免許状取得における必修科目

◎印：免許状取得における選択必修科目（どちらか1科目選択必修）

環境数理学科 [免許教科：高一種（情報）]

教科に関する科目	対応する開設授業科目	履修上の注意	最低修得単位数
情報社会及び情報倫理	○情報化社会と技術[工学部]	2単位修得	20
コンピュータ及び情報処理（実習を含む）	○計算機アーキテクチャⅠ[工学部]，計算解析，グラフとアルゴリズム，数値シミュレーションⅠ，環境情報モデル学，情報課題研究	2単位以上修得	
情報システム（実習を含む）	◎計算機理論入門，◎計算統計学Ⅰ	2単位以上修得	
情報通信ネットワーク（実習を含む）	○計算機リテラシ入門，実験情報数理	2単位以上修得	
マルチメディア表現及び技術（実習を含む）	○数値シミュレーションⅡ，情報統計学，計算統計学Ⅱ	2単位以上修得	
情報と職業	○情報と職業，情報数理インターンシップ	2単位以上修得	

○印：免許状取得における必修科目

◎印：免許状取得における選択必修科目（どちらか1科目選択必修）

[工学部]：工学部開設科目

環境デザイン工学科 [免許教科：高一種（理科）]

教科に関する科目	対応する開設授業科目	履修上の注意	最低修得単位数
物理学	○基礎からの力学，○現代の物理学，エネルギーとエントロピー，変形体力学Ⅰ及び演習，構造材料学，土質力学Ⅰ，水理学及び演習，振動学，大気環境学，環境水理学	4単位以上修得	20
化学	○現代の化学，環境と物質，有機化学Ⅰ[物質]，化学結合論Ⅰ[物質]	2単位以上修得	
生物学	○環境生物学，水質学，生態毒性学，植生管理学[管理]，水域環境管理学[管理]	2単位以上修得	
地学	○基礎地球科学，地球と環境，気象と水象，流域環境学	2単位以上修得	
物理学実験，化学実験，生物学実験，地学実験（各実験にはコンピュータ活用を含む）	○材料試験法及び実験	1単位修得	

○印：免許状取得における必修科目

[管理]：環境管理工学科開設科目

[物質]：環境物質工学科開設科目

環境デザイン工学科 [免許教科：高一種（工業）]

教科に関する科目	対応する開設授業科目	履修上の注意	最低修得単位数
工業の関係科目	環境と地盤, ○環境影響評価学, ○循環型社会システム, 土質力学Ⅱ, ○都市・地域計画学, ○測量学, ○測量学実習, 情報処理及び演習, 廃棄物マネジメント, ○地盤環境工学, ○地下水環境工学, 地盤工学, 土質力学演習, ○水理設計学及び演習, ○河川環境学, 沿岸環境学, 上下水道学, ○水環境解析, 計画数理, 交通計画学, ○景観論Ⅰ, ○景観論Ⅱ及び演習, 環境計画学, 計画学演習, 変形体力学Ⅱ, 耐震防災工学, 解析学, 数値解析学, コンクリート構造設計学Ⅰ, コンクリート構造設計学Ⅱ, 土質試験法及び実験, 水理計測法及び実験, 水・環境質計測法及び実験,	25単位以上修得	29
職業指導	○職業指導概説Ⅰ [工学部], 職業指導概説Ⅱ [工学部] ○技術者倫理, キャリア形成論 環境デザインインターンシップ	4単位以上修得	

○印：免許状取得における必修科目

[工学部]：工学部開設科目

環境管理工学科 [免許教科：高一種（理科）]

教科に関する科目	対応する開設授業科目	履修上の注意	最低修得単位数
物理学	○物理入門, 基礎からの力学, エネルギーとエントロピー, 土壌物理学, 流体力学入門, 構造力学Ⅰ, 土質力学, 土壌の物質移動学, 水理学, 構造力学Ⅱ	2単位以上修得	20
化学	○現代の化学, 物質化学入門, 環境と物質, 基礎物理化学, 有機化学Ⅰ [物質], 化学結合論Ⅰ [物質]	2単位以上修得	
生物学	○植生管理学, 環境と生物, 水質学, 環境生物学, 水域環境管理学	2単位以上修得	
地学	○気象と水象, 基礎地球科学, 地球と環境, 基礎地形情報学, 土壌科学概論, 流域水文学, 水文環境管理学, 地形情報管理学, 環境気象学	2単位以上修得	
物理学実験, 化学実験, 生物学実験, 地学実験 (各実験にはコンピュータ活用を含む)	○環境生物学実験, 土壌物理実験, 水利実験, 土質・コンクリート実験, 基礎地形情報学実習, 地形情報管理学実習	1単位以上修得	

○印：免許状取得における必修科目

[物質]：環境物質工学科開設科目

環境物質工学科 [免許教科：高一種（理科）]

教科に関する科目	対応する開設授業科目	履修上の注意	最低修得単位数
物理学	○現代の物理学，基礎からの力学，エネルギーとエントロピー，工学基礎	2 単位以上修得	20
化学	○基礎物理化学，物質化学入門，環境と物質，物理化学A，熱力学，物理化学B，物理化学C，化学結合論Ⅰ，化学結合論Ⅱ，無機化学，有機化学Ⅰ，有機化学Ⅱ，高分子化学Ⅰ，化学工学A，化学工学B，反応工学，環境分析化学，機器分析，固体化学，セラミックス物性化学，無機材料化学，有機化学Ⅲ，環境有機化学，高分子化学Ⅱ，分離工学，環境触媒化学，化学プロセス工学，化学装置設計	2 単位以上修得	
生物学	○環境と生物，水質学，環境生物学，植生管理学[管理]，水域環境管理学[管理]	2 単位以上修得	
地学	○基礎地球科学，気象と水象，地球と環境	2 単位以上修得	
物理学実験，化学実験，生物学実験，地学実験（各実験にはコンピュータ活用を含む）	○教養物理学実験 [教養]，環境分析化学実験，環境化学実験Ⅰ，環境化学実験Ⅱ，環境化学実験Ⅲ	1 単位以上修得	

○印：免許状取得における必修科目， [管理]：環境管理工学科開設科目， [教養]：教養教育科目

(4) 教職に関する科目の履修方法

科目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	中2 高2
	教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。）	
	進路選択に資する各種の機会の提供等	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	中6 高6
	幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	
	教育に関する社会的，制度的又は経営的事項	
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	中12 高8
	各教科の指導法	
	道徳の指導法	
	特別活動の指導法	
生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	中4 高4
	生徒指導の理論及び方法	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	
教職実践演習	進路指導の理論及び方法	中2 高2
教育実習		中5 高3

中：中学校教諭一種免許状，高：高等学校教諭一種免許状

(注意事項)

- 1 教職に関する科目は、教育学部が開講します。開講科目は掲示により周知しますので注意してください。
- 2 「各教科の指導法」は、取得しようとする免許教科ごとに修得してください。取得しようとする免許教科以外の指導法は、取得しようとする免許教科の単位として使用できません。
- 3 「道德教育論」の単位は、中学校教諭一種免許状の場合、「教職に関する科目」として使用できますが、高等学校教諭一種免許状の場合、「教職に関する科目」として使用できません（「教科又は教職に関する科目」としては使用できます）ので注意してください。

(5) 教育実習について

- 1 教育実習は、4年次（卒業論文履修資格取得者）に実習校で行います（実習時期については実習校で確認してください）。
- 2 教育実習を履修するためには、3年次終了時まで「教職の意義等に関する科目」2単位以上、「教育の基礎理論に関する科目」2単位以上、「教育課程及び指導法に関する科目」4単位以上（各教科の指導法2単位以上含む）及び「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」4単位以上、計16単位以上修得する必要があります。
- 3 教育実習の内諾手続方法は3年次の4～5月に掲示します。実習校が受入人数を制限する場合がありますので、早めに内諾を得るようにしてください。
- 4 教育実習については、掲示により指示しますので注意してください。

(6) 介護等体験

中学校教諭一種免許状を取得する場合は、社会福祉施設等において、7日間の「介護等体験」が義務づけられています。詳細については、掲示等により周知しますので注意してください。

(7) その他

教育職員免許状取得に関する科目のうち「教職に関する科目」の全科目及び「教科に関する科目」の「職業指導概説Ⅰ」及び「職業指導概説Ⅱ」は卒業要件単位として認められないので、履修にあたっては注意してください。